

8月納涼会報告

ワクワクワクワクドキドキ新生大田！勝ち抜け情熱 納涼！魂のボウリング大会

毎年恒例のお楽しみ納涼大会。
今年は、8月4日、蒲田IMONボウルにて
ボウリング大会を開催しました。
その名も、「納涼！魂のボウリング大会」。
成績優秀な方には、豪華賞品も進呈。
ご家族や社員の方々と一緒に楽しみ、
懇親会も大いに盛り上がりました。



報告者●大森フロック長
株湯建工務店 取締役 湯本大士氏

例年ですと8月例会はBBQが恒例になっておりましたが、今年は私の段取りも悪く趣向を変えて且つ、往年の迷ボウラー？ならぬマスターの方々も気軽に参加できるのでは？と思いボウリング大会を企画してみました。ただ、そこは中小企業家同友会！ただ投げたって面白くない！ということ、各社4名以上のチームを作ってもらい会社のプライドを掛けた戦いとなりました。戦場は蒲田IMONボウル10レーン貸切で行いました。

当日の参加者は40名10チーム(内子供の参加者6名)に分かれて佃支部長の始球式を皮切りに定刻通りガチンコ勝負開始！ただこの前に皆様に感謝しなければいけないのは、開始15分前には全員揃っていた事。運営側としては本当に助かりました。改めて御礼申し上げます。

さて、ボウリングの方は…まあ皆さん何だかんだ言ったって顔は笑っています。さすが本気。やはり勝負事はこうでなきゃ！各チーム他のレーンのスコアが気になる様子で、あっち行ったりこっち行ったり…。最年

少は4歳から最高齢は…？ MYボール・シューズ持参の方や戦闘モードでストライク出してもニコリともしない方、腕がパンパンで辛そうな方、皆さん思い思い、和気藹々と無事ボウリングは終了しました。

2次会兼表彰式はJR蒲田西口の茶寮もち月にて。時間もないので膳を突きながら表彰式！ 個人1位は高輪チーゼルの生駒さん。2ゲームトータル370！ 2位以下はスママセン割愛させて頂きます。

チーム戦優勝は…高輪チーゼルスん！ 1ゲーム1人平均153！ダントツでした。おめでとうございました！ これも杉崎社長がいつも仰っている、『勝負事は勝たなきゃい



けない！』のポリシーを社員さんにもしっかり浸透しているのだなあと思いました。経営者の思い・ビジョンを社員と共有する事の大切さを学ばせて頂いた気がします。来年に向けての企画内容・今年の反省を含め改めて大森・ベイエリア合同ブロック会で議論したいと思っておりますので、ぜひ御参加下さい！

最後になりましたが、参加して頂いた方。景品を持ち寄って頂いた方。事前準備や片づけ、スコア集計と色々な方に助けて頂きながら無事終えられたことを改めて御礼させていただきます。有難うございました。

第31回総会報告

2012年度支部スローガン・ワクワククドキドキ 新生大田！ 勝ち抜け 情熱

4月21日、大田支部第31回総会がP10にて開催されました。個支部長から支部方針が発表され、大田区長からも祝辞をいただき、記念講演では皆さんお馴染みのあのカレーハウスCOCO壱番屋の創業者、宗次徳二氏に登壇いただき、そのエネルギー溢る経営に対する姿勢をお聞きしました。

2012年度 大田支部長方針

大田支部 支部長 佃浩之



2011年度は自らの無力を思い知らされた東日本大震災から始まり、福島原発事故からの電力不足、多くの日本企業の進出先であるタイでの洪水、さらに欧州通貨危機による超円高と大田支部はもとより日本企業を取り巻く環境は熾烈を極めました。政府主導による復興はスピード感に欠け、緒に就いたばかりです。そのような状況下でも大田支部の有志は夏に被災地を訪問、又、年末には直接被災者の声を聞き何かできることはないかと自問した1年でした。

しかし、どのような環境下であっても我々東京中小企業家同友会大田支部企業の経営への情熱は絶えることなく、勝ち抜きそしてさらに発展していこうという思いを共有しています。そのために経営とは変化に対応することであると正しい言葉でありますが、今、一度自らに正しい言葉であると考えています。また、このような状況で一歩踏み出すには、当

たり前のことを当たり前にこなす経営者、企業であることが大事であると思えます。大田支部は会員企業が勝ち抜き、さらに発展していくための拠り所たることを2012年度の方針に据えます。以下、支部活動の基本理念と活動方針を記します。

【大田支部活動の基本理念】

1. 東京同友会の三つの目的に向かい行動を取る
2. 同友会の存在意義を忘れず活動する

我々は、経営の勉強をする(多くの経営者の理念を学ぶ)会である

経営者としての資質を育て磨く

経営上の悩みを相談し合える仲間を作る

中小企業が生きて行き易くする為に、みんなの意見を聞き、政策提言をする

会社の業績を伸ばし、地域の雇用的一端を担う

【活動方針】

支部長の任期満了交代があり新たな気持ちで活動するには良いタイミングです。

1. 例会を造るにあたっては支部のスローガン「ワクワククドキドキ新生大田。勝ち抜け！情熱。」に従い下記を盛り込んだ例会にします。
- (1) 参加すると経営上の悩み、問題解決のヒントが得られる、なにより勇気が貰えるような例会。

- (2) 会員企業が勝ち抜くために必要な情報を提供できる例会。
- (3) 会員増強を狙える例会。
- (4) 懇親をはかる例会。
2. 各部会、ブロック会の活動を充実させる。
3. 中小企業憲章を具現化する。
4. 会員増強を心がける。
5. 他支部や東京同友会組織へ積極的に参加する。
6. 行政、大学、高専や他経済団体との交流を深める。

総会記念講演

経営者は経営に身を捧げるべき！

カレーハウスCOCO壱番屋 創業者 宗次徳二氏



今年の記念講演は、みなさんお馴染みのあのカレーハウスCOCO壱番屋の創業者、宗次徳二氏が登壇。そのエネルギー溢る経営に対する姿勢をお聞きしました。

毎日3時55分に起床し、3時間半でお客様からのアンケートを読み、自らも掃除に参加。雨が降ろうが雪が降ろうが微熱があるが、毎年休日は15日程度。まさに、「休息」の「んびり」の文字は氏の辞書にはないのでしよう。例外を作らず自らを徹底的に律する姿勢は、宗次氏曰く「ラ

イバルは気にしない」「当たり前の事を当たり前にやるだけ」なのだ。

ゼロからのスタートで、1300超の店舗を運営し、20年連続増収増益を果たされた宗次氏。一代で1部上場企業を創り上げ、53歳ですっぱり会長職を退き後継者に継承されましたが、その後も事業は成長し続けています。その秘訣は何なのか、天涯孤獨の生い立ちから上場までの壮絶な人生が語られ、大田支部総会の記念講演にふさわしい素晴らしいお話をいただきました。

広報委員長所信表明



広報委員長
株式会社高華 取締役
松浦高士

広報委員長をさせていただき
ます株式会社高華、松浦高士で
す。

広報委員の主な活動内容は、
広報誌「おおたの同友」の編集、
発行とホームページの編成、管
理になります。広報誌は同友会
大田支部の中でも多くの予算を
いただいております。こんなこ
とをしているんだ、久しぶりに
行ってみるかとかなんだか思え
るような広報誌を作っていきた
いと思っております。

自分が同友会に入って皆様に
教えていただいたこと、何にも
代えがたい仲間は例会、部会、
ブロック会に参加してからこそ
得たものだと思います。真剣に
経営について語り合えたからこ
そ変わった自分があります。

この感動をより多くの会員の
皆様に味わっていただくお手伝
いが出来たら、それが出来るの
が広報委員だと思います。いら
っしゃれなかった会員様に参加
する感動、情熱、勇気を与える
ことが出来る広報誌「おおたの

同友」でなくてはいけないと思
っております。

ホームページですが、みなさ
ん大田支部のホームページがあ
るのをご存知でしょうか？ご
存知の方でも活用されている方
はいらっしゃるでしょうか？
おそらくほとんどいらつしや
らないと思います。そんな現在の
意味のないホームページこれは
東京同友会の一部に吸収したい
と思っております。独自ドメイ
ンがなくなりしますが、会員
外の皆様への発信の役割は十分
に果たせると思います。同時に
予算も削減できます。

広報委員としては「FACM
BOOK」の利用を推奨したい
と思っております。会員様同士の
コミュニケーションには十分
だと思えますしさらに同友会へ
情熱、仕事への情熱も上がると
思います。

感動、情熱、勇気を皆様に全
力で取り組みたいと思っており
ます。是非よろしく願います。
します。

温故知新の会主催

2011年大田支部忘年会開催

気仙沼在住の坂井さん、 東日本大震災を語る

平成23年を締めくくる大田支部忘年会
は、12月21日 P10コンベンションホ
ールにて開催されました。今年は、気仙
沼在住の坂井政行さんをお招きし、震災
から現在までを語っていただきました。
マスコミでは絶対に伝わらない東日本大
震災の真実。被災地の現状は？ 今後の
民間支援はどうすべきか？ 改めて復興
支援の核心に迫り学びを得る有意義な会
となりました。

*

忘年会の第一部に、現在、気仙沼で日々
被災者支援復興のリーダーとして活躍さ
れている坂井政行さんから震災から現在
までを語っていただき、パネルディスカ
ッションを行いました。坂井さんは、大
津波で自宅と事業所を流されたにもかか
わらず、すぐに被災者支援活動を始めま
した。10月には復興のために「気仙沼復
興株式会社」を立ち上げ、仮設住宅自治
会長を務めています。

第二部は、会食と気仙沼名産品オーク
ションを行いました。また、支援の一環
として、長期的支援に必要な貴重な情報
を現地から発信できるwebサイトを制
作、寄贈をしました。

今回の会費の半分は被災地の復興支援
とするという企画。そのため、参加する
だけでも被災地支援になるということで
より多くの方々のご参加で、盛大な忘年
会となりました。



坂井氏のボランティア拠点の前から海に向けて。右奥に海が見えますが、
以前は海まで建物がびっしりと建っており、海は見えませんでした。
震災後9カ月、復興への道のりはまだ始まったばかりです。

11月例会報告

「経営指針で社長が変わる！ 会社が変わる！」



講演者・木村正氏 (株)中央歯科補綴研究所 代表取締役

「ごめん、悪いのは俺のせい」
社員に皆さん言えますか？
愛と情熱経営で突き進む！」

11月16日、P10にて経営指針の会主催の11月例会が開催されました。「将来は経営者に」という初志貫徹で、1987年独立開業した(株)中央歯科補綴研究所代表取締役の木村正氏。患者様、歯科医院様、そして共に働く社員のために、熱い思いで経営に取組み、当時業界では珍しい業界分析に基づき事業を展開。着々と業績を伸ばしていたところ、一心同体と想っていた社員の突然の退職。増えては減り、減っては増えの繰り返し。安定経営とは程遠い状態が続く中、なぜそうなるのか苦悩する日々。そしてあるきっかけが一つの気付きをもたらす。

「すべてはトップである自分に責任がある」「経営者としてあるべき姿とは何か」「真の企業経営とは」……

まるで深い霧の中から抜け出たように一気に心が晴れ、会社が前に進み出した。ある日、社員たち自ら経営理念を唱和し始めた。

創業25年を迎えるにあたり、新たな目標と実践と覚悟を熱く語っていただきました。

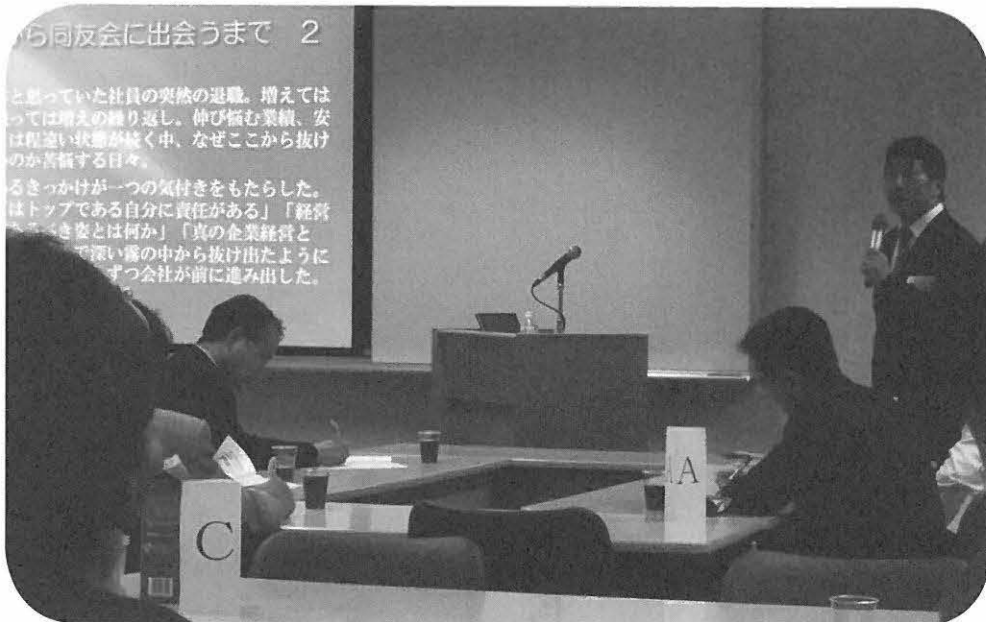


報告者・
テック大洋工業(株) 鳥潟佑樹氏

木村正様、実のあるご報告をいただきました。ありがとうございます。トップの変化が会社にもたらす影響を、実体験を交えてお話いただき、経営指針の重要性と有効性を改めて認識させていただきました。

さて、例会が終了し、振り返ってみますと、特に私が今後の糧としたいお話が2つございました。1つは、木村正様にお話いただきました「野心と志の違いについて」、もう1つはグループ討論にてご発表いただきました「社員に任せる体勢作りについて」でございます。

恥ずかしながら、今まで野心と志の違いをあまり意識せず日々過ごしてまいりました。野心という言葉は日常で何かと耳にし、頭に入っておりましたが、木村正様のお話で志という想いを新鮮に感じ、深く共感いたしました。また、社員に任せる体勢作りですが、



重要な仕事や会社の運営を社員に任せることが成長につながり、モチベーションアップにもつながるというお話でした。すばらしいお話がたくさんございました。中でもこの2つはしっかりと心に留めてまいりたいと思います。お忙しい中、貴重なお時間を頂戴いたしました。ありがとうございます。拙い司会ではございましたが、私自身は1つ成長できたと思っております。暖かく見守っていただいた参加者の皆様、拙い司会をサポートしていただいた関係者の方々には大変感謝しております。ありがとうございます。

21研第280回研究会

東京同友会政策部推薦講演報告

欧州発の世界恐慌の可能性？

「危機!?」の統一通貨

ギリシャ危機を契機に、日本で喧しい「ユーロ崩壊」論。その論拠は多くが「通貨は一つだが、(ユーロ加盟国の)財政はバラバラ」という根本的な問題にあると指摘されています。この問題に対し、中央大学経済学部教授の田中素香氏をお迎えし、1月12日、大田支部今年最初の勉強会が21研主催にてP100で開催されました。

講演者・田中素香氏 中央大学経済学部教授



たなかそうや 1945年生まれ。
九州大学経済学部助手、下関市立大学経済学部講師、助教授を経て、東北大学経済学部助教授。1986年より東北大学教授、1999年より東北大学大学院教授。2004年から現職。日本国際経済学会会長、日本E.U.学会前理事長。専攻はヨーロッパ経済論。
【著書】「ユーロ——危機の中の統一通貨」(岩波新書)、「現代ヨーロッパ経済第3版」(有斐閣)ほか。



田中素香氏は、三十年余にわたり原初時代からEU、ユーロを研究対象にしてこられました。自著の中で、「危機を糧にその制度が改善され、将来一段と強い通貨に発展する」と見通しています。

なぜ危機がここまで激発したか、危機の背後にある「リージョナル・インバランス」問題とは何か、危機の中で各国政府・欧州中央銀行・IMFはどう動き、中でもPIIGSと称されるアイルランド・南欧諸国は今後どうなるか、2010年10月末のEUの対応策は大丈夫か、などさまざまな問題に冷静な分析を加えつつ、ユーロの今後をみなで考える、大変内容の濃い例会となりました。

報告者・21研委員長
三笠総合保険 佐々木正勝氏

大田支部の会員の皆様こんにちは。ご存じの通りユーロの問題は対岸の火事とは言えない状況にあるものと思料いたします。技術的なものを含めた対応策は置くと致しまして、今の危機というのは成るべくしてなっているのではないのでしょうか。しかしながら頭のいい方がいろいろ考えてユーロという制度に至っているにも拘らず危機を迎えているのは情報の非対称性といえますがギリシャの嘘に尽きる

のではないのでしょうか？シンブルに考えれば働かない国ギリシャをユーロから切り離し損失処理すべきものであるのかと存じますがそれはあくまでも個人レベルの問題で国家間において欧州圏は第二次大戦のトラウマの為ユーロ設立に至った経緯もありそう簡単ではないようです。しかし、ギリシャを含めヨーロッパも南に行く程、働かない傾向があるようですね？それに引き換えドイツなど北欧諸国はぶれない勤勉さを持っているようです。自然の厳しさがそういうものを培うのでしょうか。

1月例会報告

新年賀詞交歓会

人口減少社会に挑戦！ 魅力と活力で人口が 増加する地域を我らの手で

「卸売業が製造業にチャレンジ、十勝産の小麦や豚肉を活かして付加価値を地域に！」

講演者・岩橋 浩氏 株式会社ホクコー 代表取締役

(北海道同友会理事、とかち支部政策委員長、帯広市産業振興会議副委員長)

帯広・十勝で食品卸の企業を経営されている岩橋氏は、中小企業振興条例制定に深くかわかり、十勝で生産される小麦を活かし、新たに食品製造へ挑戦しています。人口減少社会に入りつつある地域と日本の未来、企業の在り方・挑戦についてお話しいただきました。

ランスよく実践されることが重要です。そのために同友会も制定にかかわった帯広市の中小企業振興条例に期待が寄せられ、今回の講演となりました。

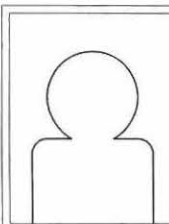
第二部は賀詞交歓会となり、参加者同士互いに抱負を語り合い、新たな気持ちで新年を迎えるよき会となりました。

中小企業振興は、豊かな市民生活を支えるために不可欠です。「住民生活の基盤となる良い環境づくり」を行うことと、その根幹である「働く場所のあるまちづくり」の両方がバ





2011年11月～2012年8月までに新たに大田支部に入会された会員の方々です。先輩会員のみなさん、例会やブロック会へ、ぜひお誘いください!



業種 一般建築物、住宅、商業施設等の電気設備工事全般。積算、設計、施工。省エネ照明工事。
 役職 東京支店長
 会社 〒143-0015
 東京都大田区大森西5-20-14
 TEL: 03-6404-6191
 FAX: 03-6404-6192
 E-mail: t-daisho@deluxe.ocn.ne.jp
 推薦者 出村行敏(とから支部)

大昭電気工業(株)東京支店
 中臣弘志
 45493 2011.11.18 (入会)



業種 シルク印刷全般、シール印刷、その他金属製品
 役職 代表取締役
 会社 〒144-0042
 東京都大田区羽田旭町3-11
 TEL: 03-3745-3331
 FAX: 03-3742-0606
 推薦者 神奈川同友会

(株)サンプリント
 三俣征夫
 45488 2011.11.14 (入会)



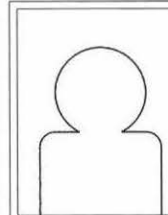
業種 広告会社案内業 グラフィックデザイン・プランニング製品デザイン・サインデザイン計画・内装計画
 役職 代表
 会社 〒146-0091
 東京都大田区鶴の木2-39-1-209
 TEL: 03-5482-0486
 FAX: 03-5482-0486
 E-mail: chivas64@fc4.so-net.ne.jp
 推薦者 木村 正

龍意匠設計研究所
 千葉茂
 45632 2012.4.12 (入会)



業種 卸売業
 役職 代表取締役
 会社 〒145-0061
 東京都大田区石川町2-16-8-302
 TEL: 03-6315-6209
 FAX: 03-6315-6209
 E-mail: oka@okatakashi.net
 推薦者 事務局

(株)TOK
 岡高志
 45579 2012.2.9 (入会)



業種 建築設計監理、都市計画・再開発調査及びコンサルタント、資産管理・活用支援、教育事業、土地建物仲介
 役職 取締役
 会社 〒144-0052
 東京都大田区蒲田5-38-3
 TEL: 03-5713-1010
 FAX: 03-5713-1515
 E-mail: sho@rui.ne.jp
 http://www.rui.jp/
 推薦者 鈴木善彦

(株)類設計室
 庄 惠三
 45566 2012.1.16 (入会)



業種 行政書士業
 会社 〒140-0013
 東京都品川区南大井6-18-1-1035
 TEL: 090-1554-5076
 FAX: 03-3765-2935
 E-mail: ogawa0828@gmail.com
 推薦者 荒井 守

行政書士 小川雅之事務所
 小川雅之
 45696 2012.7.24 (入会)



業種 システム開発、スマホアプリ、インフラの構築等
 役職 代表取締役
 会社 〒145-0072
 東京都大田区田園調布本町46-3-2F
 TEL: 03-6459-7730
 FAX: 03-6459-7731
 E-mail: miura@shrine.co.jp
 http://www.shrine.co.jp
 推薦者 星野 誠

(株)シュライン
 三浦伸哉
 45695 2012.7.24 (入会)



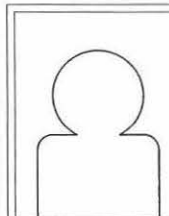
業種 出版・編集業
 役職 代表取締役
 会社 〒145-0064
 東京都大田区上池台2-40-11
 プラスポイント302
 TEL: 03-6425-9308
 FAX: 03-6425-9575
 E-mail: sh@cotonoha-jp.com
 http://cotonoha-jp.com
 推薦者 事務局

コトノハ(株)
 針谷周作
 45666 2012.6.8 (入会)



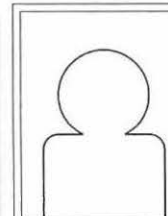
業種 自動化・省力化装置設計、製造販売、ロボットハンド設計、製造販売
 役職 代表取締役
 会社 〒143-0023
 東京都大田区山王3-45-28
 TEL: 03-3774-3731
 FAX: 03-3776-6500
 E-mail: Masanobu.Tanimoto@jp.schunk.com
 http://www.tbk-hand.co.jp
 推薦者 高野基一郎

シュンク・ジャパン(株)
 谷本昌信
 45728 2012.9.11 (入会)



業種 都・区等官公需中心の土木建設業で、公道部分の水道工事に特化しています。
 役職 取締役
 会社 〒143-0027
 東京都大田区中馬込3-8-3
 TEL: 03-3778-9211
 FAX: 03-3772-1434
 E-mail: morio@kimura-kougyou.co.jp
 http://www.kimura-kougyou.com/
 推薦者 木村晃一

(株)木村工業
 森山 勸
 45717 2012.8.23 (入会)



業種 居酒屋
 役職 経営者・代表
 会社 〒144-0055
 東京都大田区仲六郷4-28-1 2F
 TEL: 03-3735-8578
 FAX: 03-5703-6294
 E-mail: kuidokoro@yahoo.co.jp
 推薦者 丸山牧夫

居食亭くいどころ
 村上 薫
 45699 2012.7.30 (入会)

〈 第 5 回 〉 大田支部幹事会議事録 2012.8.7

【出席者】(敬称略)佃、高倉、湯本、松浦、田中、木村、荒井、佐々木、秋元、安藤、有倉、宮崎、北山、野口

【入退会報告】2012年7月末
 入会3名 退会1名 203名

●退会 (株)ティーヴィ・ボックス 代表取締役 北尾泰博氏 理由:時間とれず

【報告事項】

①7月例会:南部協 山田氏(未来工業会長)152名(会員と経営者)+40(学生)

今号の担当編集委員

松浦高士●おいしいドレッシングの高華
 河津文三●イエ〜!! ホワイトホームズ
 井上健太郎●アルミのことなら井上製作所
 皆川祐一●油圧機械部品ならミナガワ
 柳沢明子●“読まれる”モノ作りのパース
 久保井準●本物だけを。久保井海苔店
 蛇川良太郎●クレーン作業なら丸良興業

東京中小企業家同友会大田支部
 Vol.6 ● No.87 ● 平成24年10月16日

大田支部 30名(会員外8名) 懇親会 65名 入会 2名

「社員に任せていくのはすごい」「改善をやり続ける仕組み、できるようにできない」「他人と違うことやる勇気を学んだ」

②8月例会 ボーリング大会 参加41名

③ブロック会 7/19大森ブロック10名

④委員会報告

【広報委員会】

- ・おおたの同友発行。アンケート添付。
- ・ホームページは抜本的に変えたい。
- ・例会参加が少ない中で会員交流や例会参加を促し、一体感を保ち退会を防ぐためには必要だ。
- ・広報に任せきりで、記事も集まらない。

【産学交流委員会】(立正大学)

次年度講師が平間さん、小林さん、山崎さんに決定

【産学交流委員会】(都立高専)

都立高専との交流会について

【経営指針部会】

8/26~27 一泊研修14名

[21研]

10月:高野先生 11月:ジャーナリストに研究会

【けいしょう会】

1月例会の打ち合わせ「各社の商品や経営に対する思いを知る賀詞交歓会」

【南部協】

例会と納涼会へのご協力感謝します

【復興支援プロジェクト】

9/23ウォークラリー 募金で企業に提供

【協議事項】

【1】例会について(直近のもののみ)

①11月例会:産学交流 11/16 町工場が作る深海探査船「江戸っ子1号」開発プロジェクト 8000mの深海へ 杉野幸雄氏(株)杉野ゴム化学工業所社長「江戸っ子1号」プロジェクト推進委員長

②12月例会:正副で 他支部と合同

【2】会員増強

【3】その他

・来年の青年経営者全国交流会実行委員の推薦(けいしょう会で決めてもらう)

・島根青年経営者全国交流会への派遣